

ふくい街角景気速報

(平成29年4月分)

調査期間 平成29年4月11日～25日 (回答率：90%)

概況

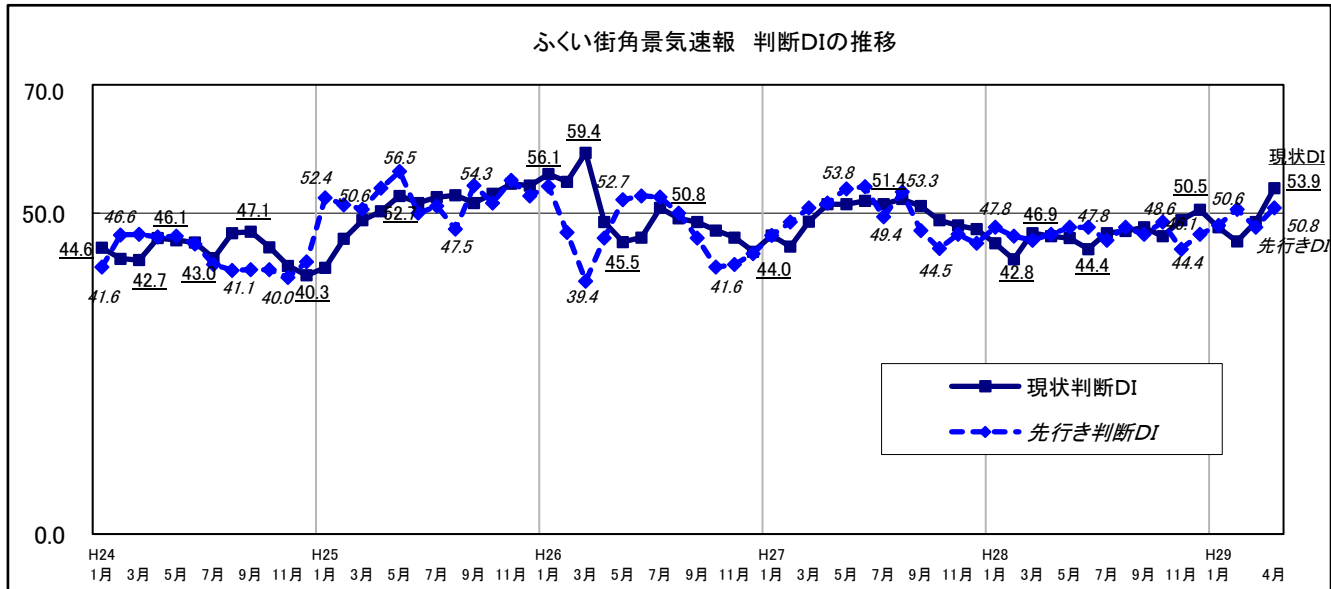
景気の現状判断DIは53.9となり、前月と比べ5.3ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは50.8となり、前月と比べ3.0ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 53.9 (前月比 +5.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ2.7ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ7.7ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ7.7ポイント上昇した。
- (意見の主な内容)
- 前年は北陸新幹線開業効果がなくなり売上が減っていたが、本年はバスの入込みが増えてきており、中京・関西方面の観光客が増えている。(土産品等販売店)
- ユニフォーム関連および車関連(資材)については受注の改善が見られる。(繊維製造業)

■景気の先行き判断DI 50.8 (前月比 +3.0)

- 家計動向関連では、前月に比べ0.5ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ8.6ポイント上昇した。
- 雇用関連は、前月に比べ2.0ポイント上昇した。
- (意見の主な内容)
- インバウンドは好調であるが、国内旅行は低迷気味であり、売上上昇の大きな伸びは期待できない。(旅館)
- 客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需があり、2018年8月頃までは国内生産が好調の見込みである。(一般機械製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
	計	100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H28 11	12	H29 1	2	3	4	(前月差)
合計		48.9	50.5	47.8	45.6	48.6	53.9	+5.3
家計動向関連		46.0	49.5	43.9	41.8	48.4	51.1	+2.7
小売		45.7	49.2	43.3	41.9	45.2	50.0	+4.8
飲食		50.0	33.3	41.7	25.0	66.7	50.0	▲16.7
サービス		45.8	54.5	45.8	45.8	52.1	54.2	+2.1
企業動向関連		52.3	50.8	49.2	46.0	46.1	53.8	+7.7
製造業		53.3	50.0	46.6	40.5	42.0	52.2	+10.2
非製造業		50.0	52.5	55.0	57.5	55.0	57.5	+2.5
雇用関連		50.0	53.8	57.7	57.7	55.8	63.5	+7.7

○回答別構成比

	年 月	H28 11	12	H29 1	2	3	4	(前月差)
良くなっている		0.0%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	3.3%	+2.2
やや良くなっている		18.9%	21.7%	14.4%	10.0%	16.5%	25.6%	+9.1
変わらない		58.9%	55.4%	56.7%	62.2%	61.5%	55.6%	▲5.9
やや悪くなっている		21.1%	17.4%	25.6%	23.3%	17.6%	14.4%	▲3.2
悪くなっている		1.1%	3.3%	1.1%	3.3%	3.3%	1.1%	▲2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H28 11	12	H29 1	2	3	4	(前月差)
合計		44.4	46.7	48.1	50.6	47.8	50.8	+3.0
家計動向関連		46.6	47.8	50.0	53.3	50.5	50.0	▲0.5
小売		46.6	44.5	47.5	53.2	50.0	51.6	+1.6
飲食		33.3	50.0	58.3	75.0	66.7	50.0	▲16.7
サービス		50.0	56.8	54.2	47.9	47.9	45.8	▲2.1
企業動向関連		42.4	43.2	43.0	44.4	41.4	50.0	+8.6
製造業		40.2	41.3	40.9	42.9	40.9	51.1	+10.2
非製造業		47.5	47.5	47.5	47.5	42.5	47.5	+5.0
雇用関連		42.3	51.9	53.8	55.8	53.8	55.8	+2.0

○回答別構成比

	年 月	H28 11	12	H29 1	2	3	4	(前月差)
良くなる		1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなる		13.3%	17.4%	15.6%	22.2%	15.4%	22.2%	+6.8
変わらない		50.0%	53.3%	58.9%	53.3%	57.1%	53.3%	▲3.8
やや悪くなる		33.3%	23.9%	23.3%	20.0%	22.0%	21.1%	▲0.9
悪くなる		2.2%	4.3%	1.1%	2.2%	3.3%	1.1%	▲2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
② やや良くなっている	家計 動向	嶺南	スーパー	客数はやや減少しているが買上点数が増えており、売上増加となっている。
		嶺南	大型小売店	ゴールデンウィークのため客数が増える。
		奥越	土産品等販売店	前年は北陸新幹線開業効果がなくなり売上が減っていたが、本年はバスの入込みが増えてきており、中京・関西方面の観光客が増えている。
		坂井	観光物産店	商品の値上げを含みリニューアルを行ったが、売上は短期的ではあるが増えている。
		福井	観光物産店	春になり、お客さまも外出することが多くなり自然と来客も増え売上が良くなってきている。
		嶺南	旅館	売上げがわずかではあるが増加しており、1・2月が悪かったので持ち直し傾向である。
		福井	ビジネスホテル	季節的なこともあるが3か月前と比べると売上は増加している。一方で、雇用者は募集をかけても人材を確保できず、退職した分の補充ができていない。
	企業 動向	福井	繊維	シーズンインになり、受注量が増えているから。
		奥越	繊維	ユニフォーム関連及び車関連（資材）については受注の改善が見られる。
		福井	一般機械	当社の客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需があり、2017年1月頃から国内の生産が好調である。
		丹南	電気機械	主要顧客からの受注量が回復している。
		福井	不動産	受注量が好調である。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	企業からの本学での個別説明会の要望等が多くなってきている。
	③ 変わらない	家計 動向	福井	小売店
丹南			商店街	所得の減少と将来への不安のせいなのか、全ての世代に渡って節約志向が目立つように思う。景気は回復基調といわれるが、企業の利益は内部留保に回され、高度経済成長時代の内需を伴う景気の良さとは全く違うように感じる。
福井			百貨店、ショッピングセンター	ホワイトデー等、モチベーションやギフト需要は前年を維持したものの、デイリーゾーンの不振は継続している。
福井			百貨店、ショッピングセンター	客数は伸びているが客単価が減少しており、売上は減少傾向である。
福井			スーパー	売上は増えているが微増であり、雇用者数はほぼ変化がない状況。賃上げを行っても直接売上などにはつながらない。
坂井			観光・レジャー施設	昨年に引き続き、春休みの期間特別イベントを開催。春のイベントとして認知度が高まってきたことや、全体的に天候が安定していたこともあり、売上が増加した。
企業 動向		嶺南	食品	昨年4月に値上げを実施し一年になるが、受注量の減少が止まらない。
		福井	石油関連製品販売	1月と比べ販売数量は増えているが原油価格が高く、利益は変わらない。
		福井	金融機関	個人消費については、季節商品が不振となるものの全体では緩やかな持ち直しの傾向が見られる。
		坂井	IT関連	受注量に大きな変化がない。
		④ やや悪くなっている	家計 動向	嶺南
坂井	小売店			県外客（観光客）が減少している。
坂井	スーパー			前年同月と比べ、客単価は増加しているが、客数の減少が響き、売上が減少している。
企業 動向	福井		眼鏡	専門店の販売が伸びていない。さらにデフレにより単価が上がらない。
	丹南		伝統工芸	受注量が前年と比べ減少している。
	福井		運輸	労務費も含めた経費の増加により利益の減少が進んでいる。
⑤ 悪くなっている	企業 動向	丹南	眼鏡	円高傾向により海外受注が減少している。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	企業 動向	福井	観光物産店	春に来店されたお客さまへ効果的な販促(DM、カード会員特典)を打ち、お店のファンになってもらうことにより売上(景気)の増加を期待している。
	企業 動向	福井	一般機械	客先である建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需があり、2018年8月頃までは国内生産が好調の見込みである。
②やや良くなる	家計 動向	福井	商店街	駅前(ハピリン)でのイベント企画が増加傾向にあり、特に飲食関連が上昇傾向。全国レベルの催しの開催が期待出来る。
		嶺南	商店街	夏に向かい消費が増えると思われる。衣類などは単価が下がりそうであるが、暑い夏になりそうなので、レジャー関連商品の購買が増えると思われる。
		坂井	小売店	農産物を販売しており、これから地元の野菜や果物が豊富に出揃うため、売上・客数とも増加する見込み。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	長期的に見れば、少子高齢化・人口減により売上は減少するかもしれないが、空き店舗が埋まり、4月末オープンによる来店客が増えると予想する。
		福井	スーパー	行楽や春祭り等の季節催事関連商品の需要も高まる時期であるため。
		嶺南	大型小売店	エアコン、冷蔵庫などの夏物家電の売上が伸びるほか、ボーナス商戦による売上増を見込む。
		坂井	観光物産店	取引先でのイベント等の開催などにより観光関係の市場が活性化されると思われる。
	企業 動向	福井	一般機械	商談が増加し受注が増加する見込みである。
		丹南	電気機械	スマホの新モデルの立ち上がりに向け、主要顧客からの回復が見込まれる。
		福井	化学・プラスチック	夏場の需要期に入ってくるため。
		福井	印刷関連	受注量がわずかであるが増加しているため。
		丹南	建設業	住宅フェアやイベント等があり、売上が増える見込である。
		福井	不動産	業種特有の繁忙期に入るほか、前年同期に比べても業績は好調である。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	同じ企画、同じ商売を続けていても必ず客数、売上は鈍化・低下していく。前年以上の努力を積み重ねないと前年の売上げには至らない。
		坂井	レストラン	景気がよくなったかな、と思うと突然落ち込むことがある。忙しいのは週末だけであり、平日は来客が少ない。
		嶺南	旅館	インバウンドは好調であるが、国内旅行は低迷気味であり、売上上昇の大きな伸びは期待できない。
		福井	旅行代理店	未だ海外情勢不安が払拭できず、海外、特にヨーロッパ方面の予約の動きが鈍い。
	企業 動向	奥越	繊維	国内消費の低迷から、衣料分野については受注の改善が期待できない。また、円高傾向で輸出も苦しい。
		福井	眼鏡	冬よりは良くなると思われるものの、横ばいの見込みである。
		丹南	伝統工芸	受注量の動きを見て、大きな変化はない。
④やや悪くなる	家計 動向	丹南	小売店	原材料費の値上げ等のため、利益が上がらない。
		福井	小売店	県外の大きな商業施設(イオンモール新小松)に客足を奪われるのではないかと懸念。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	国内外の政情の不安定さ。景気がよくなる要素が見つからないこと。
		福井	ビジネスホテル	季節要因による売上減や北陸新幹線効果の減少、ライバル施設オープンによるビジネス客の予約数の減少など。
	企業 動向	丹南	繊維	国際情勢の変動と円高傾向のため。
		福井	石油関連製品販売	世界情勢より厳しさがあり、お客様の消費が増えてこない。ガソリンだと、前年より1リットルあたり15円程高くなっており、車を利用した遠出が減ると思う。
		坂井	IT関連	同業他社との競争の激化による。
		福井	運輸	現状ではコストアップを運賃に転嫁できていないため。
⑤悪くなる	企業 動向	丹南	眼鏡	デフレが続いており、眼鏡の単価が上がらない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)